

〔夢と志を育てる学園〕

玉手山学園 広報

巻頭 理事長挨拶

面白い学園(生活)にしよう あなたは何をしますか？



感恩

建学の精神「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動と感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～



面白い 学園(生活)にしよう あなたは 何をしますか？



玉手山学園に ようこそ!

学生・生徒・園児(以下、学生と称す)・教職員の皆さん、玉手山学園に“ようこそ”。
学園を愛し、生涯の友と出会い、この街に親しんで(好きになって)学園生活を楽しみましょう。

建学の精神は「感恩」ありがとうは人を育てる

学園は「ありがとう」を大切にします。学園教育活動のベースです。
学園は2019年、創立77周年です。(1942年(昭和17年)学園創立 玉手山高等女学校から)

「夢と志」(豊かな心)を育てる 感動・感謝との出会い

「夢」とはなりたい自分、「志」とはエネルギーです。元気・やる気が出てきた、夢中になるものを見つける学園にしましょう。教職員は各々の持ち味を生かして、「感動・感謝との出会い」を創作します。学生はためらわず自分を試してください。



高校保育進学コース卒業公演 (2018.12)
親に 仲間に 先生に 頑張った自分に “ありがとう”



Tama Square と高校本館
夢と志が集まる場所
ピクニック中の園児たちと高校生

面白い学園にする 「誠実」にそして「創意工夫」「やってみよう」

学園の教育活動の姿勢は、「誠実」そして「創意工夫」と「やってみよう」の心意気です。

教職員も学生も同じです。できない(逃げる)理由より、できる(チャレンジする)方法を考える方が豊かな心になれると思います。若い方々に申し上げたい、「若さは宝物」です。面白い1年にしましょう。

3号(0~2歳児)保育スタート 良質の保育を長時間 0歳から

平成31年4月から、0~2歳児の保育が新たに始まりました。チャレンジする、こども園教職員を誇りに思います。こどもは未来社会の宝、専用の新棟でWAKUWAKUしながら総力結集、やりがいのある仕事です。



学園新校舎 (2020.5 竣工予定)
学生を“大化け”させる ここに集まり成長する(学ぶ)

私たちがどう接するかで若者は変わる

2019年度の取り組みキーワード 一部紹介

「感恩」 夢と志 あいさつ 0~2歳児 新園舎
教育の質向上(勉強(自習)時間) 卒業率向上
学園新校舎(学ぶ 伸びる)着工 グラウンド人工芝化 「食」(Tama Café)向上
“リハビリテーション診療所”充実 地域連携 Open Campus Website



Tama Café
食堂リニューアル
“美味しく 健康的 オシャレ 安く いつでも”に
チャレンジし続ける

For the students の視座

これらの活動の基本的視座、それは“*For the Students*”、そして学生・生徒・園児たちの豊かな心(夢、志)の成長です。「何ができるのか 何をすべきか」教職員が各自の役割を自覚し総力を結集し、教職員の豊かな心も成長するよう願っています。

恩 感

建学の精神「感恩」

理事長・学園長 江端 源治

入学式・入園式特集

大学入学宣誓式

4月2日、平成31年度入学宣誓式が挙行されました。本年度は学部696名、大学院13名、合計709名が入学しました。式では手話部による手話コーラスおよび手話通訳が披露されました。八田学長による式辞では「『誰かの役に立つ仕事に就きたい』、という気持ちを持続させ、『豊かな人間性』の基本である、倫理・徳義とコミュニケーションを獲得してほしい」との激励の言葉が送られました。



短大入学宣誓式

4月1日、第55回入学宣誓式が執り行われました。真新しい制服に身を包んだ新入生280名が入学し、式終了後は学科毎のオリエンテーションが行なわれました。新入生はこれから希望に満ちた新生活が始まります。新生活においての不安や悩みを抱えることもあるかと思いますが、教職員一同、新入生の大学生活が輝かしいものになるよう、全力でサポートしていきます。





高校入学式

4月8日、平成31年度の入学式が記念講堂で厳かに行われ、新入生413名を迎え入れました。保育進学コースの山口日菜子さんの希望溢れる宣誓で始まり、それを見守る保護者の視線を背中を感じながら、夢と希望を持った高校生活がスタートしました。心配されていた前日からの雨も上がり、寒さの残る春の陽気の中で、桜の花も新入生を祝福するかのように、まだしっかりと咲き誇っていました。



幼稚園入園式

4月5日、園庭の桜の花が満開になり、優しく子どもたちを出迎えてくれる中、入園式が行われました。今年度より、0～2歳児の受け入れも始まり、小さな子どもたちは保護者の方に抱っこしてもらい、安心した様子で参加していました。3～5歳児の子どもたちは、真新しい制服に身を包み、いよいよ始まる園生活にドキドキワクワクした様子でした。これから、子どもたちが安心して園生活を送ることができるように、また子どもたちにとって、幼稚園が大好きな場所になるように、教職員一同努めて参ります。





卒業式・卒園式 特集



大学卒業式

3月22日、春の陽射しが感じられる気候の下、平成30年度卒業・修了証書学位記授与式が挙行されました。本年度は保健医療学部リハビリテーション学科言語聴覚学専攻1期生20名を含む学部生513名、大学院生15名、合計528名が卒業、それぞれの新たな夢に向かって旅立ちました。式典終了後は、学部に分かれて学位記の授与や卒業記念パーティーが開催されました。卒業生のこれからの社会での活躍を期待しています。



短大卒業式

3月18日、第53回卒業証書学位記授与式が挙行されました。保育学科124名、養護保健学科42名、歯科衛生学科112名、医療秘書学科43名、合計321名が巣立っていきました。学生生活で培った知識、共に学び支えあった友情を大切に、社会で活躍し充実した人生を送られることを祈念しています。



高校卒業式

2月26日快晴の中、卒業証書授与式が挙行され、398名が卒業しました。答辞では、同い年である競泳選手の池江璃花子さんが白血病と闘う姿に、「自分たちも困難から逃げることなく前向きに力強く人生を歩んでいきたい。そして建学の精神である『感恩』を胸に、平成最後の卒業生として、新しい時代の中心になれるよう、夢に向かって歩いていく」と力強く述べていました。巣立っていった卒業生達が社会で活躍してくれると信じています。



幼稚園卒園式

3月15日、年長・青組の子どもたち113名が卒園式を迎え、大きな記念講堂で、ひとりひとり名前を呼ばれて元気に返事をし、園長先生から卒園証書を受け取りました。ご来賓の方々や、保護者の方々からの沢山のあたたかい拍手で、巣立ち行く子どもたちを送っていただき感謝いたします。これからの子どもたちの成長を心より願っています。





学生と共に「災害に強い柏原市」を作る取り組み



～未来に備える災害支援プロジェクト～

大学 社会福祉学科 遠藤 洋二



社会福祉学科では2012年度から、学生と教員のチームが東日本大震災における社会福祉専門職（ソーシャルワーカー）の活動を可視化する取り組みを行ってきました。2019年度は、公益財団法人JR西日本あんしん社会財団の助成を受け、「大学に設置された避難所を利用する市民を支援する人材を育成するための学習プログラム（産学官民協働モデル）開発に関する研究」として、以下のような事業を実施してきました。

①避難所支援員養成研修

社会福祉を学ぶ学生に対しては宮城県南三陸町において、また、柏原市・社会福祉協議会・本学園教職員等に対しては学園において、それぞれ2回の研修会を実施してきました。本研修は、南三陸町研修センター・柏原市・柏原市社会福祉協議会と関西福祉科学大学が共同で開発し、今後も継続的に実施することを目指しています。

②避難所支援ゲーム

学生が中心となり、静岡県が開発したHUG（避難所運営ゲーム）を本学園が設置する指定避難所（Do夢）バージョンとして開発し、学内・高校等で実施しました。



このような取り組みの一環として、2019年3月11日（月）には、東日本大震災で津波にのみ込まれながらも九死に一生を得て、その後の復興の陣頭指揮をとられた遠藤健治氏（元南三陸町副町長）をお招きして、リビエールホールにて「柏原市から3.11を考える」と題した講演会を実施しました。柏原市長・柏原市議会議長・本学園理事長を含め250名以上の参加者に対して、本学園が大規模災害時には、柏原市民の命を守る取り組みの一翼を担うことを内外に示す良い機会となったと思います。



2019年2月
(柏原市 オーエンスフィールド:避難所支援員養成研修)



2019年3月
(リビエールホール:「柏原市から3.11を考える」)



2019年3月
(南三陸町:避難所支援員養成研修)



2019年3月
(南三陸町:避難所支援員養成研修)



2019年3月 (毎日新聞)



TamaCafé リニューアルオープン

法人本部 施設部 筒井 佑一

学園本館1F食堂は食堂名を「Tama Café」として平成31年4月1日にリニューアルオープンしました。

食堂デザイン刷新WTは平成30年1月から活動を始めました。オシャレで学生・生徒の皆さんに使い易く居心地の良い「快適空間」を目指し、デザイン・運営会社の選定を行いました。週に一度の集まりにはWTの学生・生徒のほか、たくさんの学生・生徒が参加し、責任を持って意見を出してくれました。結果、デザイン・工事には「株式会社ウチダシステムズ」、食堂運営には「お弁当のなる」をパートナーとして進めていく事となりました。WT・パートナー会社の皆で考え、作り上げてきた「Tama Café」をご紹介します。

デザインは木目調で温かみのある空間にしたいとの思いで、床や柱面にウッド調の壁紙を採用し、照明は温かみのある温白色を採用しました。照明にダウンライトを採用する事で天井部分がすっきりとし、空間が広くなったように思います。

TamaSquare 側にはバリアフリーに対応した出入口の他、折扉を設けました。気候の良い時には折扉を開けるとテラスと一体化し、オープンカフェのようになります。

また、通路を広くする事で車いすの方でも利用しやすくなっています。利用者の動線にも配慮し、メイン通りの床色を変える事で、自然と流れが出来るよう工夫されています。

食堂内にはデジタルサイネージを設置し、食事をしながら情報を得ることが出来ます。柱面にはグリーンパネルを設置し、落ち着いた空間にしました。奥にはソファ席を設け、寛げるスペースがあります。その壁面にはスクールカラーのタマブルーを採用し、シンボリックな空間となっています。

運営会社は以前より学園本館1F食堂の運営をしていた「お弁当のなる」が継続して運営をします。リニューアルオープンに向けて、制服の変更や、メニューの追加、価格の見直しを行いました。そして、カフェタイムを設け、営業時間を平日は11:00から19:00まで、土曜日は11:00から17:00とし、14:00以降はスイーツ・デザート・軽食の提供を行っています。

このようにスタートを切った「Tama Café」ですが、これからも進化し続けます。

皆さんも是非、「Tama Café」をご利用いただき、楽しいひと時を過ごしてください。皆さんの笑顔を楽しみにしています。



We
raise up
dreams and wills





「お弁当のなる」が玉手山学園に入ってから20年近くになります。

通称「からポテ」のから揚げとポテのセットは、当時から大人気のメニューです。

スタッフたちも不慣れなところもあり、ご迷惑をおかけすることもあります。喜んでもらえるように真心こめて一生懸命提供させてもらっています。

何か気づいたことがあればご意見ください。飽きが来ないように、変化に富んだメニューを用意しています。スタッフ一同、皆様のご来店をお待ちしています。





リーダーズキャンプ

大学・短大 学生支援センター 林 広人

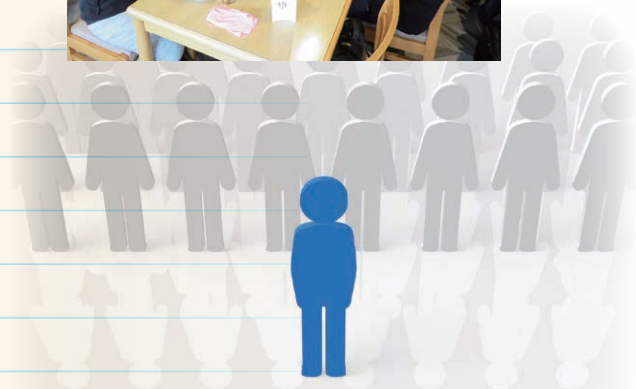
平成31年2月21日(木)～22日(金)の1泊2日で、大阪府羽衣青少年センターにて第13回リーダーズキャンプを開催しました。

この研修会の目的は、各課外活動団体間・学生間の交流を促進し、実践の基盤を整えることにより、課外活動の活性化を図ることです。団体の現状・課題・目標を共有し、課題解決のために討議する場として、毎年実施しています。

今回のリーダーズキャンプでは、各課外活動団体の現代表者及び次期代表者が参加し、「団体の現状・課題」「課外活動団体の活性化」「新入生の募集活動」「課外活動組織の運営体制」等のテーマで討議、発表を行いました。

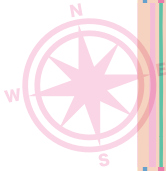
今回の研修会で、団体、学年、学科の垣根を越えて真剣に討議することで、各団体が手を取り合って協力していくことの大切さ、一丸となった際の力強さを改めて実感することができました。

今回の研修会が、各団体の活動に活かされることを期待しています。



学外オリエンテーションを終えて

短大 医療秘書学科 西山 良子



短期大学では、4月4日(木)～5日(金)、鳥羽市にある「戸田家」において1泊2日の学外オリエンテーションを実施しました。新入生279名、2・3年生16名、教員36名の総勢331名が参加しました。このオリエンテーションは、新入生相互並びに教員との親睦を深め、学習意欲の高揚を目的としています。入学式から3日後ということもあり、河内国分駅集合時にはやや不安げな様子の新入生たちでしたが、貸し切り列車に乗り、思い思いに過ごすうちに、あちらこちらで笑顔の花が咲いていました。鳥羽駅に到着すると、世界最大級クラスのクルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が鳥羽港に寄港しているとの嬉しい知らせが入り、暖かな日差しの中、豪華客船をバックに集合写真を撮影する機会にもめぐまれました。

オリエンテーションは、各学科それぞれのプログラムの実施、保育学科長の渡邊先生、福間先生と2年生による学園歌指導など、新入生と教員が親睦を深める企画が盛り沢山でした。2日間のオリエンテーションを通し、今後の学生生活に不安もあるなかで、同じ目標を持った仲間と共に頑張っていこうと思えたのではないのでしょうか。また、一緒に参加した在大学生が1年生のことを気遣い対応している姿に、それぞれの成長を感じることができる嬉しい機会にもなりました。戸田家のスタッフの皆様には丁寧な対応をしていただき、心温まるおもてなしを体験できたことも大きな学びとなりました。天候にめぐまれた中で、すべてのプログラムを無事終え、参加者全員が笑顔で帰宅の途につくことができました。関係教職員の皆さま、ご協力ありがとうございました。



2018年K'sコンサート

高校 安田 伸一

K's コンサートは今回で第11回目を迎え、柏原市立の柏原中学校・堅下北中学校・堅下南中学校・玉手中学校の吹奏楽部のみなさんをゲストとしてお迎えし、開催させていただきました。

また、2018年は柏原市制60周年にあたり、第一部のオープニングはAARON COPLAND 作曲「市民のためのファンファーレ」を演奏し、AMBROISE THOMAS作曲「レイモンド序曲」へすすめました。

第二部は中学校の合同演奏です。安室奈美恵メドレー「Hero ～CAN YOU CELEBRATE ～Finally」等3曲を演奏しました。

第三部では初めてアンサンブルにチャレンジし、打楽器4重奏「スピリチュアル」・クラリネット4重奏「七つの王国」・

金管八重奏「選ばれた場所」と、打楽器・木管楽器・金管楽器の特徴を生かした素晴らしい演奏を聴かせてくれました。

第四部はラテン音楽より選曲した「OMENS of LOVE」・「TICO-TICO」・「SAMBA EXPRESS」・「宝島」とラテン系楽曲に部員達も大いに盛り上がり、客席と一体感のある演奏でコンサートを終えさせていただきました。

終演後お客様より「すごく楽しかったよ!」と直接コメントをいただくことができ、部員達も大きく成長することができたコンサートになりました。



保育進学コース 卒業公演



高校 福原 知佳子

保育進学コース4期生の卒業公演は、12月15日(土)に記念講堂にて行われました。土曜日の開催ということもあり、たくさんの保護者が来校されました。劇、太鼓演奏、ダンス、ピアノ演奏、合唱と盛りだくさんの演目を2時間の中に凝縮させました。半年以上かけ様々な演目の準備をしてきました。劇は2班に分かれて行いましたが、国語の授業で脚本を作成し、短大の先生方に演出の指導をしていただきました。大道具・小道具は造形実習の授業で制作し、先生からアイデアをいただきながら完成させることができました。その他にも様々な授業で先生方からご教授いただき、

その集大成となるものが出来上がりました。リハーサルの時には「間に合うかな」「うまくできるかな」と、不安そうな顔をしていた生徒たちでしたが、本番になると顔つきが変わり、自分のすべき役割を考え行動することができました。最後の合唱では、全員が感極まり泣いていました。「多くの方の協力のもと、無事公演を終えることができました。ありがとうございました。」という代表生徒の挨拶に生徒たちの成長を感じました。この学びを生かしてこれからも大いに活躍してくれると確信しています。





平成30年度3学期 クラブ活動報告

前号に引き続き、3学期のおもなクラブ活動報告をさせていただきます。

第73回大阪高等学校 総合体育大会(女子)

総合成績 入賞校 第6位!

本校の女子体育系クラブの年間総合成績が、3年連続入賞校(4年連続優良校表彰)となり、大阪府下すべての私立・公立高校(約250校)の中で第6位となり、大阪高体連より表彰を受けました。



日本拳法部

- 第23回全国高等学校日本拳法選抜大会
(3月 大阪市修道館)

男子団体 優勝
女子団体 第3位
男子個人 優勝
女子個人 第3位



なぎなた部

- 平成30年度 新人大会 兼
全国高等学校なぎなた選手権大会 予選会 (1月)
団体の部 準優勝
演技の部 2年生 第1位 第2位
1年生 第1位
個人の部 優勝
- 平成30年度 全国高等学校なぎなた選手権大会
近畿ブロック予選会 (1月)
団体の部 優勝
- 平成30年度 新人大会 兼
全国高等学校なぎなた選抜大会 大阪府予選会 (1月)
団体の部 (選抜予選の部) 準優勝
団体の部 (トーナメントの部) 準優勝
個人の部 優勝
2年生演技の部 優勝 準優勝
1年生演技の部 優勝
- 第31回近畿高等学校なぎなた選手権大会
(2月 奈良県)
団体の部 優勝
演技の部 優勝
個人の部 準優勝 第3位
- 第14回 全国高等学校
なぎなた選抜大会 (3月)
団体の部 第5位



吹奏楽部

- 第32回南大阪アンサンブルコンテスト (2月)
Saxophone 4重奏 佳良賞
Trombone 4重奏 佳良賞
- 第5回堺市アンサンブル
コンテスト (1月)
管楽七重奏 銀賞
木管七重奏 銀賞



生活発表会

大きな舞台でドキドキしたね

幼稚園 三木 亜莉沙

平成31年2月16日、17日の2日間にわたり、子どもたちが楽しみにしていた生活発表会が行われました。

発表会の話をする、子どもたちから「こんな役がしたい!」「楽器はこれをして!」と、意欲的な声が元気に聞こえてきました。それぞれの役割が決まってからは、給食の後やクラスでの活動の合間に進んで練習したり、友達と教えあったりしている姿がたくさん見られました。発表会の日が近づくと「発表会楽しみやなあ…」「先生、発表会まであと何日?」と指折り数え、毎日一生懸命に取り組んでいました。

生活発表会当日は、思いっきり楽しみながら大きな舞台上で活躍する子どもたち。劇遊びではそれぞれの役になりきって伸び伸びと表現したり、おおきな声でセリフを言ったりと普段より一層張り切っているように見えました。また、合唱や合奏の時に指揮者の先生を見る子どもたちの真剣なまなざしは、いつもは見ることの無い特別なものでした。

生活発表会を通して、どの学年も成長を見せてくれた子どもたち。最後までやりきった満足そうな表情とキラキラした目を見て、私たち保育者もほっと笑みがこぼれました。

子どもたちの事を支え、温かく見守ってくださった保護者の皆様、来賓の方々にこの場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。





定期演奏会

リビエールホールで歌ったよ



幼稚園 福家 美代子

2月23日(土)、関西女子短期大学保育学科の定期演奏会で、年長組の子どもたちの歌声がリビエールホールの大きな舞台いっぱいにはびこりました。

子どもたちと「どんな歌が良いかな?」「先生!この歌を歌いたい!」と話し合って3曲を選びました。前日、リハーサルに行った時には、ホールの大きさに圧倒された様子でしたが、園に戻るバスの中では、「実習の先生がいたね」と短大生の中に知っている顔を見つけ、安心した様子でした。そして、短大のお姉さんたちと、同じ舞台で歌うことが楽しみで待ち遠しい感じでした。

当日は、大きな太鼓やピアノ演奏を真近に鑑賞できたことが楽しく、子どもたちの歌声もいつにも増してきれいでした。子どもたちの笑顔と歌声は、たくさんの人の心にも響い

たことと思います。

これからも、歌うことや表現することの楽しさを、ずっと覚え続けてくれることを願っています。



食育クッキング

あったか〜い、ベジタブルホットケーキ

幼稚園 古上 愛菜

1月15日(火)、食育クッキングとして、関西福祉科学大学福祉栄養学科の学生さんと一緒に、野菜の入ったホットケーキを作りました。いつもは野菜が苦手な子どもたちも、自分で作ったホットケーキはとても美味しく食べていました。お野菜たっぷりのホットケーキを食べて、「野菜もおいしく食べられる」という自信につながったようです。

焼けるのを待っている間に、大学生のお兄さんやお姉さんと野菜のカードでパズルをしたり、本物の野菜に触れて匂いをかいだり、その野菜がどのような栄養を持っているのかを教えてもらったりしました。

クッキングやいろいろなゲームを通して、色々な食材を「食べてみよう!」とする意識を持たないように思います。



玉手山学園グッズ第3弾

おいしい「Tamaあられ」絶賛発売中♪

～新たに誕生した「Tamaあられ」をご紹介します!!～

学園グッズWT 後藤 知寛



Tamaあられ
単品130円



Tamaあられ
(8個入り)1,200円
※包装代込み

2018年度に、「学園にもっと『親しみ』を持ってほしい」という思いから、初の学園定番グッズ、「Tamaタオル」「TamaUSB」が誕生しました。「Tamaタオル」は大阪泉州タオル生地100%を使用しており、「TamaUSB」はおしゃれでアクセサリのようなデザインで多くの方にご使用いただいています。そして、玉手山学園グッズ第3弾として、新たに「Tamaあられ」が誕生しました。

「Tamaあられ」は、ほどよい塩味がおいしいスティックタイプのあられです。国際オリーブオイルコンテスト金賞受賞のエキストラバージンオリーブオイルを使用し、昔ながらの製法で作っています。さっぱりとした後味ながら豊かな余韻とサクッと軽い食感は、クセになる美味しさです!

また、オリジナル包装紙で包まれたお土産用セット販売も行っています。単品で食べるもよし、母校のお土産として買ってもしのグッズです。是非ご賞味ください♪



Tama スポーツタオル 500円
Tama フェイスタオル 200円
Tama ハンドタオル 100円



TamaUSB
1,800円

価格はすべて税込表記です。



真新しい園舎で、 乳児保育がいよいよスタート!

幼稚園 村井 恵

平成31年(令和元年)4月。

平成から元号が令和に変わり新しくなったこの年に、認定こども園関西女子短期大学附属幼稚園乳児園舎が完成し、0、1、2歳児保育がスタートしました。

真新しい園舎やおもちゃ。今までの幼稚園では見ることの無かった、ベビーベッドやベビー椅子。これまで沢山の子どもたちと過ごしてきた私たちも、思わず「カワイイ〜♪」キラキラと目が輝き、笑顔が止まりません! 思い返せば3年前。幼稚園を認定こども園にすることが決まってから、あちらこちらの園や施設を見学したり、資料をいただいたりしながら準備を進めてきました。昨年度から2号認定児の受け入れが始まって、全園児への完全給食のために調理室や、エレベーターを作り、夏からは乳児園舎の建設が始まり…。毎日めまぐるしく変化する中、ようやくここまで来ることができたと、感謝の思いで一杯です。地域の保護者や子どもたちのお力に成れるよう、精いっぱい頑張っていきたいと思えます。この園舎が完成し、乳児保育を開始するまでに当たっては、学園の皆様のお力と励まし、そして近隣にお住まいの方々や乳児保育を実践するために、勉強の場を貸してくださいました皆様へ、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



学園広報編集委員会

委員長 湯川 雅紀(大学教育学部)

委員 横山 学(大学事務局)

辻村 匡志(大学事務局)

古橋 正則(高等学校)

村井 恵(幼稚園)

植田 陽(法人本部)

與原 真弓(法人本部)

松井 愛(法人本部)